

2008年度冬季研修会 報告

今年度の研修会を2009年1月6日に八尾プリズムホールで行いました。冬休みで、まだ年始の行事も続いているだろう時期であるため、参加者数はそれほど多くなく100名強に留まりましたが、来られた方は皆、意欲的に熱心に学ばれ、充実した内容の研修となりました。とくに動作法の分科会は希望者が定員を超え、もう少し広い部屋で行うべきであったと運営の側では反省しています。他の分科会においても、熱心な研修が行われました。参加者の声の中に「人数が少ない分、参加した私たちはお得でした」というものがありました。時間が短く質問ができなく残念でした、また開催してほしいです、という声も少なくありませんでした。今後もより充実した研修ができるようにつとめたいと思います。

また、この研修会に参加された泉大津市の方が、この内容について泉大津市内で報告会を実施されたと聞きました。このような形で実践が広まっていくこと素晴らしいですね。

各分科会の状況と参加者アンケートの一部を紹介します。

FBMの基礎と実技



この分科会は、FBMについて、ほとんど知らずに参加された方が多く、人数的には少なかったのですが、部屋の大きさや、具体的に教えていただけたという点からは、とてもよかったという感想が多くありました。

バランスボールに似た大中小様々なボールを使いますが、空気の量は50%以下等かなり減らしたものを使い、運動するというよりは、

リラックス感や動きの安定性等を助けるために、とてもよいものだと思えました。

一人ひとりボールを使って体験し、ていねいに教えていただき、途中、実際に子どもたちがボールを使って訓練している様子もを見せていただいて、よく分かりました。

想像していた以上に奥が深く、肢体不自由のお子さんだけでなく、知的・情緒のお子さんや、お年よりの介護にも、そして自分自身にも、リラックスした感覚を味わうことができるものでした。

また、ぜひ、この分科会、研修会を！ という声がたくさんありました。



性教育

講師としてお二人の方にお話をお聞きしました。大橋さんは成人した男のお子さんのお母さんとしての立場から、中村さんは育成会の相談支援専門員としての立場から、成人した方たちの現状をお話して下さいました。その後、参加者からの質問に具体的にお答え頂きました。



その中で、保護者と担任との共通理解の必要性、指導者側の共通理解の上での指導など、示唆に富むアドバイスを頂きました。

性教育は0才から始まっている。手をつなぐことだけがスキップではない。「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の中で、性についての記述が必要である。教師が関わられるのは6年・3年が限度、後は親がみなければならない。そのためには、将来を見据えた「生きる力」をどう身につけるかが大事であるということ、強く話しておられました。

その他にも沢山の質問があり、2時間という時間が短く感じられるほどでした。

個別の教育支援計画・個別の指導計画

具体的な内容で分かりやすく説明してくださり、参加者には好評でした。とくにICFについて知りたかったという方に参考にしていただくことができたようです。

また、具体的な内容についての演習があり、明日からの実践に直接役立つような学習内容でした。以前に同様な研修を受けられた方は発展的な理解につながりました。

研修の内容は次の2点でした。

1、「個別の教育支援計画」および「個別の指導計画」の概要について

どのような意義を持つものであるか、短期目標の立て方や、支援・指導のための課題分析の必要性等、具体的事例をもとに説明していただきました。



2、ICF 関連図を使った「個別の教育支援計画」作成演習

ICFの視点から子どもをとらえ、どのような支援の手だてが考えられるか、グループに分かれて討議しました。関連図作成は初めてという参加者もありましたが、熱心な演習ができました。



臨床動作法の基礎と実技

30名の定員を大きく超える希望があり、何人もの人に対してお断りさせていただきました。

参加された皆さんは、どの方も意欲的で、講習の時間がとても短く感じられました。また講習をうけたい、もっとくわしく知りたい、さっそく明日から実践したい、という声も多かったです。



2人ずつペアになってのスキンシップ、体の動かし方だけでなく、力の使い方、言葉のかけ方など、リラックスしながら多くのことを学びました。

会場の広さが十分でなかったことなど今後の反省材料とします。そして講師の方、マットなど準備に尽力していただいた方に厚くお礼申し上げます。

@@

参加された方の アンケートから…

FBMの基礎と実技

- ・ 肢体不自由児の運動・訓練にとってもいい。
- ・ 知的や情緒の子と一緒に楽しみたい。
- ・ どんな子にも活用できそうですね。
- ・ 毎日少しずつでも取組みたい、もっと知りたい、ワークショップの案内がほしい。
- ・ リラックス感や動きの安定性などがよく分かりました。実技でいろいろ教えていただき、方法がわからない時にさっと来ていただけたので、とても分かりやすかったです。
- ・ 少人数でさびしかったです。参加した私達は、とってもお得でしたが。
- ・ 2回目ですが、実践する時間が多く、分かりやすかったです。また実施してください。

性教育

- ・教師とは違う視点での話が聞けて参考になった(複数)
- ・事例をあげて話していただきイメージがつかみやすかった(複数)
- ・「先(10~20年先)を見据えて、今はどのような指導をしていくべきか」という考えは参考になった。どうしても「今」に目が行ってしまい、「先」のことを忘れがちになるので、今後は注意していきたい。
- ・親の立場からの思い、学校に望むこと、将来を見すえて「生きる力」をどう身につけるか話が聞けてよかった。性教育は0歳から始まっており、小さい頃からしてよいこと・悪いことをしっかり教えていくことが大切。手をつなぐ必要はない。スキンシップは心の交流であって、体がふれあうことではない。
- ・初めて支援担になり迷いながらの指導支援だったので、「本当にこれでいいんだろうか」が、「とにかく今日聞いたことを実践していこう」に変わった。
- ・広汎性発達障がいの子どもの間で性の問題に直面しており、親との関わりも含め、たいへん参考になった。特に中学校では、特別支援と性の問題は切り離せない問題だと痛感しているので、また勉強したいと思っている。
- ・第二次性徴に関して、保護者と相談して同じ方法です。人の体にさわらない、さわらせない、など具体的なことを親に言う、という点など参考になった。
- ・「基本的な生活習慣の確立」が、これほど大切に思えた講演はなかった。具体的に目の前の担任している子どものチェックをして、まだできていない点を家庭と協力して支援していこうと思う。
- ・(性的な課題が多い児童について)親は心配が絶えない。担任は、できるだけ寛容に受けとめ、対応するよう心がけてはいるものの、一緒に悩んでしまうことがある。お二人の先生の話は、そんな私に元気と示唆を与えてくれた。
- ・大橋さんが親として経験された「生の声」、20年30年後を見すえて「今」の大切さを訴えられる声を厳しく受け止めていきたいと思った。中村先生の寛容な生き方に感銘を受けた。
- ・自閉症の生徒は、男子も女子も毎日のように、自分の恋や身体の悩みを訴えてくる。「体に触れてはいけない」など厳しく伝えること、とても大切と思った。今は許されても、大人になったら許されないこともある、などなど、あさってからすぐに実践します。場面やプログラムの展開を変えることの大切さも学んだ。
- ・今回のテーマは、今、現場で悩んでいることの1つである。今まで多くの研修に参加したが、今日のテーマは初めてだ。今後もぜひ同じような研修会を開いてもらえればうれしいです。

個別の教育支援計画・個別の指導計画

- ・ ICF での支援シートの作成とグループでの話し合いでは、その子どもの状態をしっかりと見つめることの大切さを学びました。また、話し合いでは、「そういう見方もあるのか」という思いをしました。学校でも、このような研修ができればいいな、と感じました。
- ・ 個別の支援計画をきちっとまだ作ったことがないので、今日のお話を参考にして、すぐにでも作ってみようと思っています。また、ICF 関連図がよく分からなかったので教えてもらえて、とても役に立ちました。
- ・ ICF のとらえ方、記入の仕方など具体的に演習ができ、理解することができました。個別の教育支援計画と個別の指導計画についても、違いなどが理解しやすかったです。グループ分けでの演習に臨めてよかったです。
- ・ 計画の作成をもっと具体的に書いてよいのだということが救いになりました。かねてから重要なものと認識していたのでスッキリしました。さっそく本校でも具体的に立案していこうと思います。また、親の参画が必要と思いますが、このあたりの具体的事例の研修がほしいです。
- ・ ICF について、ぜひ自分の事例で行い、他の人との共通理解を深めたいと思いました。

臨床動作法の基礎と実技

- ・ ヨガやストレッチの実習のようでした。体がスッキリするのと落ち着く感じがしました。何より相手との信頼感も大きいと思います。手や体をくっつけて話しをしながら、ゆっくりとした動き！ 音楽を流して、リラックスタイムにぴったりですね。
- ・ 動作法の学習は、体や心の硬さがみられる子にもリラックスさせてできるので良いと思う。また、粗大運動として自分の体に問いかけるのによい方法と思われる。
- ・ 単に体を動かすだけでなく、お互いのやりとり、言葉だけでなく、体の動かし方、力の入れ方・ぬき方のやりとりなど、とても参考になりました。以前から関心を持っていたので、実技を教えていただいて、とてもうれしかったです。座位を教えていただいたのが基本だと思うのですが、立位などについても、また知りたいと思いました。
- ・ スキンシップをしながら、ゆっくり呼吸を合わせて、動作することで、精神的に落ち着くことを実感しました。言葉がけの理解の難しい子ども達が多いですが、できることからやってみたいと思います。
- ・ 支援学級だけでなく、学校全体でつとめたいと思います。支援学校の先生はさすがと思いました。理論と体の動きをしっかりと学ばれていると思いました。また、知

識だけでなく経験も大切だと思いました。先生のは、全てが活かされていたように思います。

- ・重度の自閉の子どもが今年入学してきます。その子どもの情緒の安定のためと思って参加しました。これが活かせるかどうか、今から楽しみです。体験しながら理解できた点がよかったです。
- ・自閉の子どもがいるので「体操」として取り入れてみたいです。
- ・実技をする時間があっという間に過ぎていきました。もう少しやりたかったです。

会の運営

- ・冬休みのこの時期は人が集まりにくいのでしょうか？
- ・駅に近いのがよい(複数)
- ・遠く不便(北摂の人)
- ・平日の放課後や夏・冬休みに研修会をやっていただくとありがたいです。
- ・実技が多くあったので他の時期に研修できるようにしてほしい
- ・マットを準備していただいたり準備もたいへんだったと思います。よかったです。
- ・他の分科会にも参加したかった(複数)
- ・話し合いがしやすいように席を詰めて座るよう指示してほしい。
- ・(性教育)座席配置がよかった (口の字)

これからの研修・会の活動について

- ・複数の分科会を希望する人もいるので、同じ内容を夏冬2回するなど工夫してほしい。
- ・本日のように実技を多くしてほしい。
- ・親も発達障がいのあると思われるケースが多く理解していただくことに苦慮しています。家庭生活についての支援の方法などあれば教えてほしいです。
- ・(個別の教育支援計画) 親の参画が必要と思いますが、このあたりの具体的事例の研修がほしいです。
- ・(性教育)ぜひ単発でなく、シリーズでやってほしい。2時間では収まらなかった。
- ・(性教育)講師に直接質問・相談させていただく機会がほしい。

冬休み中の研修への参加、そしてアンケートご記入 有難うございました